

7月22日総務大臣が官報告示

法律に基づいたすべての合併手続きが整う

平成16年7月22日付けで総務大臣が久留米市、田主丸町、北野町、城島町及び三瀧町の合併を告示(官報に掲載)しました。

この告示によって、地方自治法等に基づいた合併に関する手続きがすべて終了し、正式に平成17年2月5日に新「久留米市」が誕生することとなりました。

現在、1市4町では、新市への移行のため、合併協議会で確認した協定書に基づき、様々な事務事業の調整などの合併準備を進めています。



麻生渡福岡県知事

福岡県知事からのメッセージ

新「久留米市」として来年2月から歩まれることを心からお祝い申し上げます。

1市4町が合併に至りましたことは、各市町長、議会議員の皆さまをはじめ、1市4町の関係者ならびに住民の皆さまの熱意と努力のたまものであり、深く敬意を表します。

筑後地域における人口30万都市の誕生は、県内はもちろん、九州の発展にも資するものと考えています。

これまで各市町では、くんでこられた人材や文化、産業、地域資源などを生かし、さらなる飛躍と発展を遂げ、活力と魅力あふれる中核都市づくりを進められるよう期待しています。

1市4町の市長・町長からのごあいさつ

久留米市長 (久留米広域合併協議会会長)

江藤 守國

来年2月5日、いよいよ新「久留米市」が誕生します。

この合併の実現に向け、温かいご支援、ご協力をいただきました1市4町の住民の皆さまに心から感謝いたします。

合併後は、1市4町のこれまでの文化や伝統を活かしながら、それぞれの地域資源や人材の融合を図り、福岡県南を代表する魅力ある新「久留米市」を築いていきたいと考えております。

今後とも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

田主丸町長 (久留米広域合併協議会副会長)

馬田 博

今回の告示によりまして久留米広域合併が最終的に決定したことは、感無量の思いであります。

この合併によって地方分権の受け皿となる新しいまちづくりの基礎ができたものとうれしく思っております。

今後は、皆さんと共にそれぞれの地域にあったまちづくりを推進しながら住民サービスが低下しないような中核都市にふさわしい新市をつくりあげていきたいと思います。

北野町長 (久留米広域合併協議会副会長)

秋吉 喜一郎

告示により合併が正式に決定いたしました。

合併当初は新しい制度に変わる分野も多く、住民の皆さんにはご迷惑をおかけする点もあるかと思いますが、合併はすぐに答えがでるものではありません。

10年先、20年先に「合併してよかった」と言えるよう、北野町がこれまで培ってきた歴史や文化、産業などを十分に活かし、一人ひとりが主役となる新しいまちづくりを進めるため、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

城島町長 (久留米広域合併協議会副会長)

佐藤 利幸

いよいよ現実のものとなりました。

新市の基本理念である「地域特性を尊重した都市づくり・共生の都市づくり・住民を基点とした都市づくり」をベースに、新市のめざす都市像は「一極集中型から多極分散型、ネットワーク型などの都市形態への転換」です。

皆さんと共に新しい時代の、そして豊かで安心して暮らせるまちづくりを進めましょ。

三瀧町長 (久留米広域合併協議会副会長)

砂山 惣吉

今回の合併は、21世紀、時代が急速に変化する中で、次世代の発展を考えれば避けてはとれないものです。本心に感無量であり、身が引き締まる思いです。

来年2月5日に4町はその歴史を閉じますが、今後はそれぞれの歴史や伝統、文化などの特色を活かした新久留米市の地域として、新たな夢を持ち、歴史を刻んで大きく発展するものと確信しております。

今後とも、新市発展のために、住民の皆さまのご理解、ご協力を切にお願いいたします。